

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツスタジアムはーと		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 26日 ~		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 24名	(回答者数) 13名	R7年 3月 21日
○従業者評価実施期間	R7年 3月 3日 ~		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数) 8名	R7年 3月 21日
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 26日		

## ○ 分析結果

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
各学年や性別に分けた、グループごとの部屋割りがあり、施設内に体育館、シアタールーム、カラオケ室、プール、芝生広場などの活動に応じたスペースを確保できています。また、専門知識を持つ各職員がおり、丁寧な対応ができるおり、支援愛用は充実したものと思っています。	職員のスキルアップに繋げるべく、研修への参加や相談役の先生から毎日のご指導、発達支援に関する資格などの取得にも積極的に取り組んでいる。	朝の会、帰りの会の時に、子どもたちのやつてみたい活動や遊び、また給食やおやつのリクエストなど直接聞いて、取り入れています。
平日の朝礼後、職員間の発見会議があり、直近の児童や家族、家庭の様子、またグループ内での問題やその対応について報告し合っています。皆で周知、検討していく事で本人に寄り添った支援計画を作成する事ができ、よりよい支援に繋がっていると思います。	これから必要とされる専門知識などの資格情報やその取得により、さらなるスキルアップを目指していきます。	利用者やそのご家族に寄り添った、より細やかな支援が出来るよう、個別的に対応も行っています。また、日中一時支援の利用や排泄指導、入浴指導、整容指導なども取り入れており、少しずつ充実したサービスを図っていきます。
2 平日の朝礼後、職員間の発見会議があり、直近の児童や家族、家庭の様子、またグループ内での問題やその対応について報告し合っています。皆で周知、検討していく事で本人に寄り添った支援計画を作成する事ができ、よりよい支援に繋がっていると思います。	発見会議の継続はもちろん、グループのリーダーを中心とした報告連絡相談の徹底による、統一した支援の工夫。 相談支援専門員や学校、保護者との密な情報交換などを心がけている。また、個別支援計画書はリーダーや支援員の情報や意見も反映させ、計画作成となっています。	利用者やそのご家族に寄り添った、より細やかな支援が出来るよう、個別的に対応も行っています。また、日中一時支援の利用や排泄指導、入浴指導、整容指導なども取り入れており、少しずつ充実したサービスを図っていきます。

3	充実した活動内容やスペースとスペースとイベントなどがあり、専門スキルの高いスタッフの対応と個別支援なども行っている事により、利用者やそのご家族からの満足度に繋がっていると思います。	各学年別、性別によるグループ分けやその時々の状況、季節に応じた活動を取り入れ、楽しく育成されている。火・食・療育プロジェクトとしてむかばきでのカレー作りや遠足、買い物体験なども力を入れており、毎週月曜日には手作りおやつの日として愛情を注いで作ったおやつを楽しみにしている子供も多く、今後も継続していきたい。	定期的にご家族や保護者と一緒に活動に参加し、共通理解や事業所への信頼を高めていくイベントなどを計画していく必要があります。
---	--	---	---

1	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われるること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けた必要な取組や工夫が必要な点等
2	以前は年に1～2回開催していた父母の会や保護者説明会などがコロナ禍以降減っていて、保護者同士の交流の場がなくなりつて来ている。	職員の人員不足などもあり、余裕を持っての開催が難しい状況であった。	長期的な利用、療育により、利用者の将来の安心に向けた支援のためにも、同法人内のB型就労事業所や生活介護事業所の説明、見学を年齢幅を広げて説明会を行つ必要がある。
3	放課後児童クラブや児童館との交流、障がいのない子供との交流野機会が少ない。	支援学校や各小学校、中学校の支援学級の子どもたちとの交流はできているが、土日が休みということもあり、長期休暇や祝日などの日程も限られており、調整がつけにくくなつていることも要因の一つである。	利用者の兄弟や地域の子どもたちとの交流の機会が増えるようなイベントの企画を増やしていく。（祭りやサッカー大会、運動会など）
3	緊急時対応マニュアルの利用者やご家族への詳しい説明が不足していて、いざという時の対応が十分ではないかもしない、と不安感がある。	保護者に対しての直接的な説明の不足がある。緊急時の避難の際の各部署の車両の手配や配分を決めておく必要がある。	緊急時対応マニュアルを保護者向けてにも、説明を行う。または資料の配布。緊急連絡先を一ヵ所ではなく何ヵ所か聞き、事業所として把握しておき、双方の安心に繋げる。